

## 独立役員からの メッセージ

NTT都市開発について	01
社長メッセージ	03
特集 「歴史・文化」の継承と共生	07
連結財務ハイライト	11
At a Glance	12
NTT都市開発のビジネス	13
コーポレート・ガバナンス	21
役員一覧	23
独立役員からのメッセージ	24
CSRマネジメント	25
データサマリー	27
会社情報	30



社会の将来を見据えながら、積極的に社会貢献を果たしていく姿勢を重視しています。

### 社外取締役 小松 章

1948年生。埼玉大学や一橋大学などで教授を歴任し、現在は武蔵野大学経済学部経営学科教授を務める。2013年6月から当社社外取締役として、豊富な知識を活かして業務執行を監督している。

学問に王道なしという諺がありますが、基本的には企業経営も同じではないかと思います。戦略がものを言うのは当然ですが、長期的には結局のところ、正しい理念の下、社会への貢献を通じて業績を積み上げていくことが経営にとっても最善の道であるように思われます。当社が掲げる「誠実に、革新的に」というスローガンは、まさに企業経営のあるべき姿勢を適切に表明したものだといえるでしょう。ここ数年、当社は、住宅部門ではサービス付き高齢者向け住宅の建設、オフィス部門では大型ビルの建設など積極的な展開を進め、さらにホテル・リゾート事業やグローバル事業の展開も本格化して、事業ポートフォリオは飛躍的に充実を遂げました。設立30年の節目を越えて、会社は確実に新しいステージに移行したように感じます。新しいステージに求められるものは、規模だけでなく質を一層高める経営であり、そのためには充実した事業ポートフォリオを本格軌道に乗せることが重要となります。不動産業界のみならず日本を取り巻く環境は不確実性を増すばかりですが、当社が社会に貢献し社会から信頼される誠実な会社であり続けるために、私も微力ですが社外取締役としての職責を果たしてまいりたい所存です。



事業分野の拡大に対応して、コーポレート・ガバナンスの一層の確立に貢献していきます。

### 社外監査役 岡崎 俊一

1958年生。郵政省(現総務省)入省後、内閣法制局、内閣官房などで豊富な行政実務経験を積むほか、千葉大学・東京大学などで教鞭をとることを通じて幅広い見識を培う。2015年6月に当社社外監査役に就任。

企業のコーポレート・ガバナンスの強化が課題とされる今日では、監査役の本務として、単に当社の執行部門が法令や定款に適合して業務を遂行しているかを監視することにとどまらず、事業の健全な発展と企業価値の向上を図る観点から、経営サイドに客観的な視点から提言するという役割も求められるようになってきています。

当社においては、「中期ビジョン2018」に基づき、オフィスビルの開発・賃貸やマンション分譲中心の事業から、高齢者向け住宅事業、ホテル・リゾート事業、グローバル事業、エリアの再開発・複合開発事業などの分野にその活動範囲を大幅に拡大してきており、それに伴い、経営判断におけるコンプライアンスやリスク管理の重要性がますます高まっています。

このような状況を踏まえ、より株主の皆さまの目線に近い立場から、社会的信頼に応える良質な企業統治体制の確立に貢献するため、自ら営業や開発の現場に積極的に向いて実態を把握するとともに、経営層との意見交換や社外取締役との連携の強化などを通じて、監査の実効性を一層高めたいと考えています。